

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17051	高齢者タクシー料金助成事業	課名	長寿健康課 高齢者支援G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務	会計 01:一般会計
	基本施策	03:高齢者の地域生活支援の充実	科	款 03:民生費
	施策の方向	03:高齢者の生活と生きがいづくりの支援	目	項 01:社会福祉費
戦略プロジェクト	-		目 03:老人福祉費	
事業予定期間		H 19 ~ R 1 年度	主な根拠法令要綱等 亀山市タクシー料金助成事業実施要綱	

目的・概要	対象	満75歳以上の人
	目的	高齢者がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することで外出支援を行い、高齢者の自立生活を支える。
概要	概要	満75歳以上の希望者に対して、タクシー券を交付する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	○タクシー料金助成 ・助成額:10,000円/年 ・交付者数(見込み)4,300人			
	年度実績	タクシー料金助成 助成額: 10,000円/年 交付者数: 3,132人			
事業の計画・実績	計画額	事業費	24,900千円	0千円	0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	20,300千円		0千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	15,503千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	15,503千円	0千円	0千円	
	総人件費	1,648千円	0千円	0千円	
	一般職員	1,648千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.21			
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		17,151千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	交付率	活動	計画値	66	
		交付者数/対象者数		実績値	50	
				単位	%	
	名称	利用率	成果	計画値	57	
		決算額/交付額		実績値	48	
				単位	%	
名称			計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>高齢者の交通手段をタクシー料金助成事業で対応していくことには限界があり、乗合タクシー等他の地域交通施策との重複を避け、乗合タクシー制度の利用促進の状況をみながら、乗合タクシーに乗車ができない方々はどのような方なのか検討する。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>乗合タクシー制度の利用者登録及び利用勸奨を図りながら、タクシー券の交付を行った。また、ご本人やご家族及びその支援者から心身等の状況をお聞きし、乗合タクシーに乗車できない方にはタクシー券のみ交付した。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>乗合タクシー制度の説明を十分行ったうえでタクシー券の交付を行い、乗合タクシー制度登録者の増加に努めた。また、心身等のご事情がある方は、本人またはご家族に丁寧に事情を聴き取り、タクシー券のみ交付することができた。75歳を迎えられた方に対しては、タクシー券申請のご案内を個別に送付した。タクシー券を交付した方々の利用実態分析をし、来年度以降の対象者の検討資料として作成した。その中で、心身等の事情によりセダン型車両を使用する乗合タクシーに乗車できない方とはどのような方なのかを検討した。</p>	<p>A</p> <p>計画どおり実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>75歳以上のタクシー券の交付率は49.62%で、昨年度より8.4%減少した。利用率は47.93%となり、昨年度より1.06%減少した。</p> <p>乗合タクシーの登録とタクシー券の交付を同時に行ったことで、自分で車の運転をされる方や家族等の送迎により必要がない方は申請を辞退された。また、乗合タクシー利用者のうち、遠距離を乗車された方や通院のために頻繁に利用される方などから、タクシー券より実費負担が非常に少なかったという声もいただき、徐々に必要な方に必要なサービスを提供できた。</p>	<p>A</p> <p>十分な成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>心身等の事情により乗合タクシーに乗車できない人のみタクシー券を交付することで、これまで以上に丁寧な聞き取りと審査が必要である。</p>	<p>今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 </p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>申請にみえた方に対して心身の状況について丁寧に聞き取りをしたうえで、これまでのタクシー券のご利用状況、要介護認定の状況、ケアマネジャーや在宅介護支援センター職員等に確認しながら交付を判断する。状況が把握できない場合は、個別訪問により対応し、総合的に審査し、判断する。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>乗合タクシー導入の経緯の原点に戻り、個々の心身等の事情に配慮したうえで、必要な外出支援を提供できる。</p>	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	健康福祉部 長寿健康課 高齢者支援グループリーダー 廣森 康宏
【最終評価者】	健康福祉部 長寿健康課長 豊田 昌子

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	A		
	成果	B	B	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		20,300 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	20,300 千円
	令和2年度への繰越額	千円